

数理探究クラス合宿

(開講式校長挨拶)

数理探究クラスのみなさん、

入学して8日目、本荘高校はどうか。4日間の応援歌練習は本当にお疲れ様でした。応援歌練習は本高生になるためのイニシエーションです。校歌や応援歌を歌えるようになって、初めて本高生としての自覚が生まれたのではないのでしょうか。

応援歌練習を乗り越えて、一つ、本高生になりました。これから、いろんな事を経験して少しずつ本高生になっていくのです。がんばってください。

さて、入学式では皆さんに高い志を持つこと、そしてその実現に向けて不断の努力を重ねることが大事だと話しました。実は、入学式の前日、始業式でも、先輩の2, 3年生に「有志竟成」、志有るものは事ついに成るということで、同じ事を話しております。

また、もう一点、話しました。21世紀型スキルということで、今必要とされる能力は、「知識よりも知識を得る術を身につけること」、自ら課題を見つけ、それを解決する能力とも言い換えられますが、この課題解決能力が必要なのだとお話しました。

数理探究クラスの諸君にはこの意味において、すなわち、自ら課題を見つけ、それを解決する能力、課題解決能力を身に付けることにおいて、1年部、さらには、本荘高校のリーダーとして牽引してもらいたい、引っ張ってってもらいたいと思います。

数理探求クラスは この21世紀に必要とされる能力、21世紀型スキルをいち早く身に付けるために作られたクラスともいえます。お互いに切磋琢磨しながら自分を高めていってください。

それでは、最後に、数理探究クラスの実質上の出発式に当たり、ノーベル物理学賞(1965)を受賞した朝永振一郎氏の「子どもたちに向けたことば(1974)」を紹介して私の話を終わります。

『不思議だと思ふことこれが科学の芽です。

よく観察して確かめ考へること、これが科学の茎です

そして最後になぞがとける、これが科学の花です』

一番最初の不思議がないと何も始まりません。

それには『つねに、興味関心を持つこと、好きになること』だと思います。

そうすれば不思議が見えてきます。そしてそこからすべてが始まるのです。

最後は、科学の花を見事に咲かせて欲しく思います。

皆さんの数理探究クラスとしての充実した3年間を期待します。

頑張ってください。

(完)